

| 年度 | 講座名 | 講師 | 内容 | 出前先 |
|------|--|----------------------------|---|-----------------|
| 2023 | 学校・園で取り組む性の多様性 | 吉野真紀氏（日本福祉大学教育・心理学部心理学科教授） | LGBTQの子どもたち、あるいはかもしれない子どもたちの具体的な困難や、それに対して個別に、また学校全体的にできる取り組みについて、ワークも交えながら実施。 | 千代田区教育委員会 |
| 2022 | 経済学を通して考える子育て | 山口慎太郎氏（東京大学大学院教授） | 「家族の経済学」を専門とする講師に、出産、育児、子育て支援に関するトピックを、経済学に基づいた分析や最新のデータを交えながら、現在子育て中の親に向けてわかりやすく講義してもらい、子育ての現状や少子化対策について考える。※オンライン（Zoomウェビナーで実施） | 区内小学校PTA |
| 2022 | 偏見や差別を見逃さない社会づくり～人権課題「子ども」と「LGBTs」に着目して～ | 大賀一樹氏（スクールカウンセラー） | 実際の学校現場では、どのようにしてセクシュアリティの悩みを持つ児童や生徒に接すればいいのか。児童・生徒の声を直接聞く立場にあるスクールカウンセラーであり、当事者でもある講師に、具体的な事例を交えた学校現場での支援の在り方について聞く。 | 千代田区教育委員会 |
| 2022 | デジタル暴力の被害に遭わないために～まやかしのコミュニケーションに気をつけよう～ | 岡恵氏（NPO法人ぱっぶず支援員） | スマートフォンやSNSの普及の中で、若年女性や子どもが性被害に遭いやすい現状がある。その現状を解説してもらいながら、トラブルの回避や未然に防ぐために役立つ知識、健康で対等なコミュニケーションについて、支援者である講師から聞く。 | 区内都立高等学校 |
| 2021 | デートDV ～お互いを尊重した関係とは～ | 西山さつき氏（NPO法人レジリエンス） | デートDVを他人事ではなく「ジブンゴト」として学び、個人の問題としてとらえ、社会の課題としての理解を深める。デートDVの構造、種類、「力とコントロール」の暴力の構造、相手を尊重する関係性、被害にあったときの対応や相談方法等を学ぶ。 | 区内大学 |
| 2021 | 学校・園で取り組むLGBTs | 鈴木茂義氏（公立小学校非常勤講師） | 教育現場でも、当事者生徒への支援が求められているが、当事者に寄り添うサポートが困難だと考える現状において、どのようにしたら、当事者の児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるのかを考える。 | 千代田区教育委員会 |
| 2021 | 生きづらさを抱える若い女性たちを地域で支える | 横田千代子氏（全国婦人保護施設等連絡会会長） | 現代社会には、貧困、虐待、家庭崩壊、DV、いじめ、性的搾取など様々な社会が抱える問題に苦しむ少女や若い女性たちがいる。生きづらさや困難を抱えて孤立する少女、若い女性の現状、さらにコロナ禍で増した深刻さを知る。また、区内で支援活動をする一般社団法人若草プロジェクトの「まちなか保健室」の活動を紹介し、地域でできる支援活動について考える。 | 千代田区民生委員児童委員協議会 |
| 2020 | 日常生活から考えるジェンダー平等 | 田中東子氏（大妻女子大学文学部教授） | ジェンダーギャップ指数や、働く夫婦の家事時間、夫婦の家事分担比率、管理職の男女の割合などの統計を見ながら、海外と比較しつつ日本の不平等な現実を知る。また、性別役割分業を再生産しているようなCM動画を見ながらメディア表現の問題について学ぶ。 | 区内私立高等学校 |